

# 活 動 報 告

# 日本語教育部門：日本語・日本事情

(2000年4月～2001年3月)

田 村 泰 男

## 1. 授業科目一覧

授 業 科 目	開 単 設 数	学期別週授業時数			備 考
		前期	後期	通年	
◎ 日 本 語 I A	1	2	2		広島大学外国人留学生 のための授業である。 日本語 I A から日本 語 II F までは通年の授 業ではない。 ◎印の授業は東広島、 霞の両地区で開講。
◎ 日 本 語 I B	1	2	2		
日 本 語 I C	1	2	2		
日 本 語 I D	1	2	2		
◎ 日 本 語 II A	1	2	2		
日 本 語 II B	1	2	2		
日 本 語 II C	1	2	2		
日 本 語 II D	1	2	2		
日 本 語 II E	1	2	2		
日 本 語 II F	1	2	2		
日 本 語 III A	2	2	2		
日 本 語 III B	2	2	2		
日 本 語 III C	2	2	2		
日 本 語 III D	2	2	2		
日 本 語 IV A	2	2	2		
日 本 語 IV B	2	2	2		
日 本 語 IV C	2	2	2		
日 本 語 IV D	2	2	2		
◎ 日 本 語 V A	2	2	2		
日 本 語 V B	2	2	2		
日 本 語 V C	2	2	2		
日 本 語 V D	2	2	2		
日 本 語 V E	2	2	2		
日 本 語 V F	2	2	2		
日 本 語 V G	2	2	2		
日 本 事 情 A	2	2	2		
日 本 事 情 B	2	2	2		
日 本 事 情 C	2	2	2		
日 本 事 情 D	2	2	2		
日 本 事 情 E	2	2	2		
日 本 事 情 F	2	2	2		
日 本 事 情 G	2	2	2		

## 2. 授業内容

(東広島キャンパス)

### レベル 1

授業科目	日本語ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD
担当教官	堀田泰司・迫田久美子・下村真理子・坂田光美
目 標	かな及び基本的な漢字の読み方・書き方、初歩的な文法を習得させる。
内 容	1. 文字の導入 2. 基本文型の導入 3. 音読練習 4. 口頭及び筆記による応用練習
テキスト	みんなの日本語初級Ⅰ (スリーエーネットワーク)

### レベル 2 - 1

授業科目	日本語ⅡA・ⅡB・ⅡC
担当教官	石原淳也・松崎寛・坂田光美
目 標	初級クラスで学習した基礎的な語彙・文型・表現の定着をはかるとともに、語彙力を高め、豊かな表現力を身に付けさせる。加えて種々の場面に応じた実用的な日本語能力を習得させる。
内 容	短文を中心に構成され、会話を多く取り入れた教材を用い、場面に応じた適切な表現を学びながら、既習の語彙・文型・表現の応用練習を行う。併せて新出の語彙・文型・表現を口頭練習、書く練習によって学習し、より日本語らしい表現の習得を目指す。
テキスト	みんなの日本語初級Ⅱ (スリーエーネットワーク)

### レベル 2 - 2

授業科目	日本語ⅡD・ⅡE・ⅡF
担当教官	田村泰男・下村真理子・渡辺久美
目 標	初級クラスで学習した基礎的な語彙・文型・表現の定着をはかるとともに、語彙力を高め、豊かな表現力を身に付けさせる。加えて種々の場面に応じた実用的な日本語能力を習得させる。
内 容	1. 文型練習の積み上げにより文型・語彙の定着をはかる。 2. あいさつなどの慣用的表現を学び、場面や状況にふさわしい表現能力を養う。 3. 短い会話をテープで聞き、内容の要点を把握する練習と質問に答える練習を行う。
テキスト	新日本語の基礎Ⅱ (スリーエーネットワーク)

レベル 3

授業科目	日本語Ⅲ A・Ⅲ B・Ⅲ C
担当教官	石原淳也・坂田光美
目 標	中級レベルの長い文章を読み、それが何を伝えようとしたものであるかを確実に読み取る読解力を身に付け、更にその内容を的確に言語表現できる能力を養うことを目標とする。
内 容	授業は、日本の生活・習慣などを題材としたテキストを用いて行う。日常よく用いる言葉及び表現文型をできるだけたくさん確実に覚え、それらを使った例文を作る練習をする。各課の終了後は、理解の程度を確かめるために、必ず口頭で文章の内容について発表するとともに、各自質問紙に答えてもらう。
テキスト	日本語中級読解入門（アルク）／日本語2ndステップ（白帝社）

授業科目	日本語Ⅲ D
担当教官	渡部浩見
目 標	実際の講義やニュースを聞いて理解できるようになるための準備段階として本授業を位置付け、一定の長さがある聴解教材の内容の概要把握ができるような聞き取り能力を身に付けることを目標とする。また、聞いて分かる理解語彙を増やすことも目標とする。
内 容	ランゲージ・ラボ（LL）を利用し、全体授業に加え、個別学習・個別指導を行う。
テキスト	毎日の聞き取り50日 上・下

レベル 4

授業科目	日本語Ⅳ A・Ⅳ B
担当教官	田村泰男
目 標	日本語Ⅲまでに学習してきた項目について確実に運用できるようにさせるとともに、日本語の「聞く」「話す」「読む」「書く」の四技能をバランスよく身に付けさせる。
内 容	読解用教材を読むことによって、既習の文型・語彙・表現を整理し、併せて新しい文型・語彙・表現を学習する。その際、口頭練習で定着をはかるとともに、書き言葉に属する言い回し、或いは文型を「書く」作業によって練習し、文章レベルでの理解をはかる。これらの作業の後、教材の内容理解を確認するために練習問題を使って質疑応答を行う。
テキスト	日本語中級読解（アルク）／テーマ別中級から学ぶ日本語（研究社）

授業科目	日本語ⅣC
担当教官	中川正弘
目 標	日本語作文を書くことで、文法や語彙をその選び方、使い方として理解させる。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作文例を分析しながら読むことで、テーマ、内容を考えるだけでなく、文法や語彙についての理解を正す。</li> <li>2. 作文例と同じテーマで自分でも作文を書く中で、いろいろなスタイルの使い分けや、辞書に出てくる類義表現の選び方など、ことばの能動的な運用練習をする。</li> <li>3. 作文はすべて添削した後返却するので、自分の日本語の弱点を確認し、学習の目標をはっきりさせる。</li> </ol>
テキスト	作文例と文法、語彙をまとめたプリントを毎回配布する。

授業科目	日本語ⅣD
担当教官	渡部浩見
目 標	日常会話で交わされる会話を聞き取り、自然な口語で会話する能力を養う。
内 容	ランゲージ・ラボ（LL）を利用し、全体授業に加え、個別学習・個別指導を行う。
テキスト	なめらか日本語会話（アルク）

#### レベル5

授業科目	日本語ⅤA
担当教官	深見兼孝
目 標	時事日本語の聴解能力を養い、併せてそれに特有の語彙・表現を学習する。
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 時事論評を聞き、その内容を理解する練習を行う。 後にそれを文字化したものを読み、理解を補足する。 さらに重要語句の使い方について練習する。</li> <li>B. ニュースを聞き、 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)その内容を理解する練習を行う。</li> <li>2)スクリプトの完成を行う。</li> </ol> </li> </ol>
テキスト	市販の中・上級用教材の一部と付属のテープ及び、自主教材。

授業科目	日本語VB
担当教官	中川正弘
目 標	日本語における「表現」の様々な側面を考察することで、内容や文法のレベルにとどまらず、表現行為や解釈行為まで含めた「ことば」とはどんなものであるかを理解する。
内 容	文章練習とその徹底的な分析を柱とする。ほぼ毎週短い作文を提出してもらい、これは当然添削して返却するが、添削では到底表すことができない日本語という言語の問題、誤用の分析、また言葉の「選び」などに現れる日本文化、日本社会の考察を通して、外国人の日本語と日本人の日本語を隔てているものが何であるか検討してゆく。
テキスト	用例分析のプリントを毎回配布する。

授業科目	日本語VC
担当教官	石原淳也
目 標	1)現代の若者が使う語彙、表現を身につけ、同時にその背景にある日本文化を理解する。 2)聴解能力の向上。
内 容	映画、テレビドラマを見ながら学生に質問をして、理解が不十分であると思われる語彙、表現、発音、出演者の行動について解釈を加えるとともに、適宜、学生同士に議論を行わせる。
テキスト	自主教材

授業科目	日本語VD
担当教官	田村泰男
目 標	類義語・慣用句を中心とした語彙や上級文法を習得させることによって日本語の読解力、表現力を高める。
内 容	主として、語彙を中心に授業を行う。 1. 漢字の訓読み、特別な読み方をする漢字 2. 類義語・類意表現 3. 慣用句 4. 接頭辞・接尾辞 5. 新聞の語彙・表現
テキスト	自主教材

授業科目	日本語VE
担当教官	高永茂
目 標	物語の展開を理解し、登場人物の考えや気持ちを、行動を通して読みとることができるようにする。
内 容	<p>1. 「注文の多い料理店」(宮沢賢治作)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面分けをし、物語のあらすじをつかむ。</li> <li>・登場人物の考え方や性格を読みとる。</li> </ul> <p>2. 「字のないはがき」(向田邦子作)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物について、それぞれの人物像を読みとる。</li> <li>・「父」に対する私の心情の変化について考える。</li> <li>・全文を読み、「家族」の在り方について考える。</li> </ul> <p>3. 「運の悪い男」(星新一作)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の展開を把握する</li> <li>・登場人物の細かな動きとその意図するところを理解する。</li> </ul> <p>以上のほか、いろいろな文章を用い、授業を行う。</p>
テキスト	自主教材

授業科目	日本語VF
備 考	本年度は開講しない。

授業科目	日本語VG
備 考	本年度は開講しない。

授業科目	日本事情A
担当教官	浮田三郎
目 標	日本の諺を学ぶことにより(時には世界各国の諺と対照比較して)、日本語的な表現、日本的な考え方、日本の文化・風土などの理解を目指す。
内 容	日本の代表的な諺を、時には世界各国の諺と対照比較しながら、日本語的な表現、日本的な考え方、日本の文化・風土を学習する。各々の諺がもっているテーマやそこで使用されている素材を考える。諺の表現の特徴やおもしろさを考える。簡単なクイズ形式の設問を用いて考えてみる機会を与える。各々の諺について、留学生達の意見、対照比較できるような自国の諺や表現とその考え方を発表してもらい、意見の交換をする。
テキスト	自主教材

授業科目	日本事情B
担当教官	長谷川伸次
目 標	日常生活や社会的慣行の中に息づく日本の伝統文化や社会的風土を観察・認識することで、時事問題へのより深い理解と学習を目指す。
内 容	1. 新聞、雑誌等を梃子として、日本の社会的経済的問題点を討議する。 2. 日本人・日本社会の思考体系や行動様式を討議する。 3. 必要に応じて公共施設や企業訪問を実施する。
テキスト	自主教材

授業科目	日本事情C
担当教官	玉岡賀津雄
目 標	言語処理に関する基本的な特徴を異言語間で比較考察することによって、異文化間のコミュニケーションで起こる多様な現象を理解する。
内 容	本授業は、「異文化間コミュニケーション」と題して、以下のことを学ぶ。 (1)言語処理における音声・書字・統語・意味的要素、(2)単語の形態素構成および単語自体の様々な特徴による認知処理への影響、(3)文章の統語的分析とその認知処理、(4)意味的な認知、さらに(5)言語を超えた社会・文化・習慣的な知識の言語理解への影響について、日本と他の言語を比較考察することによって、普遍的または特殊な言語認知処理モデルを模索する。
テキスト	必要な文献を紹介またはプリントして配布する。

授業科目	日本事情D
担当教官	金田智子
目 標	異文化が接触する日本語使用場面を題材に、日本文化や日本語に対する理解を深める。
内 容	主に学生自身が体験した日本語使用場面、あるいは異文化接触場面におけるさまざまな摩擦をとりあげていく。それらを題材に摩擦の原因とその影響を考えながら、日本文化や日本語に対する理解を深める。同時に、異文化への適応と日本語習得との関係にも触れ、摩擦解決の方法を探っていく。
テキスト	プリント教材



授業科目	日本事情E
担当教官	今石正人
目 標	戦後の日本映画のいくつかを観賞することで、広くは日本文化と社会、狭くは家族関係の変遷についての理解を深めさせる。
内 容	小津安二郎の「東京物語」、山田洋次の「家族」、森田芳光の「家族ゲーム」を比較検討する。戦後の歴史、時代背景、監督、主題、家族の描かれ方、観客の反応・評価について説明し、学生の出身国の家族形態との比較や相違点・類似点などをディスカッションする。
テキスト	小津安二郎「東京物語」、山田洋次「家族」、森田芳光「家族ゲーム」ほか
参考文献	佐藤忠夫「映画をどう見るか」講談社新書 1976年、 佐藤忠夫「見ることと見られること」日本評論社 1991年、 川本三郎「今ひとたびの戦後日本映画」岩波書店 1994年、 Donald Richie, Japanese Cinema, Oxford U.P.,1990 Ian Bruma, Behind the Mask, A Meridian Book, 1985 Tadao Sato, Currents in Japanese Cinema, Kodansha, 1982

授業科目	日本事情F
担当教官	橋本敬司
目 標	日本人でさえ自覚的ではない日本人と日本という文化の形について、歴史的あるいは現代的テキストを、留学生と日本人学生が互いに議論することを通して読み解き、それぞれの日本人と日本を発見してゆく。
内 容	西行、鴨長明、吉田兼好、近松門左衛門、木村敏、丸山圭三郎、養老孟司などの著書にみられる日本人の人間観、世界観、死生観、文学観について、生、死、身体、自然、言葉などのキーワードを通して考察する。履修する日本人学生と留学生がグループを作って、それぞれが選択したテーマに基づいてレジュメを用意して発表し、それを基に討論する。
テキスト	適宜プリントを配布する。
参考文献	「山家集」 「方丈記」 「人と人との間」 「唯脳論」 など

授業科目	日本事情G
担当教官	本年度は開講しない。

(霞キャンパス)

レベル 1

授業科目	日本語ⅠA・ⅠB
担当教官	山中康子・渡部浩見
目 標	かな及び基本的な漢字の読み方・書き方、初歩的な文法を習得させる。
内 容	1.文字の導入 2.基本文型の導入 3.音読練習
テキスト	みんなの日本語初級Ⅰ（スリーエーネットワーク）

レベル 2

授業科目	日本語ⅡA
担当教官	渡部浩見
目 標	初級クラスで学習した基礎的な語彙・文型・表現の定着をはかるとともに、語彙力を高め、豊かな表現力を身に付けさせる。加えて種々の場面に応じた実用的な日本語能力を習得させる。
内 容	短文を中心に構成され、会話を多く取り入れた教材を用い、場面に応じた適切な表現を学びながら、既習の語彙・文型・表現の応用練習を行う。併せて新出の語彙・文型・表現を口頭練習、書く練習によって学習し、より日本語らしい表現の習得を目指す。
テキスト	みんなの日本語初級Ⅱ（スリーエーネットワーク）

レベル 5

授業科目	日本語ⅤA
担当教官	下村真理子
目 標	慣用的表現や上級文法を習得させることによって日本語の読解力、文章表現力を高めさせる。また、時事日本語の聴解力も養わせる。
内 容	主として新聞の記事から題材をとり、漢字の読み書き、慣用句、文法などの問題点をテキストとしてまとめたものを用いる。授業では、まず読んで理解し、次にそれに対する自分の意見をまとめて発表し、討論へと発展させる。また、ニュースなどを聞くことにより、聴解力を養い、文章表現との違いを理解する。
テキスト	自主教材

# 日本語研修コース

深見兼孝

【修了者】

第30期生名簿（2000年4月～2000年9月） [20名]

氏名	呼び名	国籍	専門	大学
Bax, Leendert Joost	レオン	オランダ	物理療法	広島大学
Mu Mu Htwe	ムムトウエイ	ミャンマー	教育学	広島大学
Boulanouar, Zakaria	ザカリア	モロッコ	金融経済学	広島大学
Bautista, J-Ney Nermal	ジェイニー	フィリピン	生物科学	広島大学
Kohama, Sueli	スエリ	ブラジル	生物科学	広島大学
Nguyen, Tu Hoang Khue	トゥ	ベトナム	薬学	広島大学
Kosku, Nihan	ニハン	トルコ	電子工学	広島大学
Chung, In Young	インヨン	韓国	環境工学	広島大学
Pakingking, Rolando Jr .Villarente	ロランド	フィリピン	海洋科学	広島大学
Mabuhay, Jhonamie Abiner	ジョナミー	フィリピン	自然科学	広島大学
Hommeida, Abdelrahim Abdallah	ホメイダ	スーダン	畜産獣医学	広島大学
Kakimova, Sharapiya Bazarkhanovna	シャラピヤ	カザフスタン	開発経済学	広島大学
Kavalam, Joseph Paul	ジョセフ	インド	物質工学	鳥取大学
Aung Khine Soe	アウンカイソー	ミャンマー	農学	山口大学
Iwan Sumirat	イワンスミラット	インドネシア	工学	山口大学
Dinh Tan Nhat	タン	ベトナム	経済学	山口大学
Wood, Bronwyn Pamela	ブロンウィン	ニュージーランド	経済学	山口大学
Castro, Antonio Romero	アントニオ	メキシコ	経済学	山口大学
Htay Htay Maung	テイテイマウン	ミャンマー	工学	山口大学
Palapala, Valerie Adema	ヴァレリー	ケニア	生物生産システム	県立大学

第31期生名簿（2000年10月～2001年3月） [19名]

氏 名	呼 び 名	国 籍	専 門	大 学
Ward, Martin Stephen	マーティン	イギリス	日 本 学	広島大学
Pinho, Catherine Azzariti	カ テ リ ネ	ブラジル	生 化 学	広島大学
Al Nuaimi, Abdulaziz Ali	アブドゥラジズ	アラブ首長国連邦	環 境 工 学	広島大学
Chakhame, Richard Hanke	リチャード	マラウイ	経 営 開 発 学	広島大学
Spencer, Caroline Peta	キャロライン	オーストラリア	経 済 学	山口大学
Wongsrikeao, Pimprapar	ピンプラパー	タ イ	獣 医 学	山口大学
Hla Hla Htay	ラ ラ テ イ	ミャンマー	科学教育学	広島大学
Arif Setyayoga	ア リ フ	インドネシア	英 語 教 育 学	広島大学
Alvarez, Nelia Santos	ネ リ ア	フィリピン	比較教育制度学	広島大学
Tiangco, Ma. Rhodora Guevarra	ロ ド ラ	フィリピン	障害児教育学	広島大学
Oyuga, John Owuor	ジ ョ ン	ケ ニ ア	数学教育学	広島大学
Drennan, Jane Maria	ジ ェ ー ン	オーストラリア	日 本 語 教 育 学	広島大学
Valencia Medrano, Perla Elizabeth	エリザベート	メ キ シ コ	障害児教育学	広島大学
Kwon, So Hyeon	ク オ ン	韓 国	理 科 教 育	広島大学
Heo, Yong Cheol	ホ	韓 国	学 級 経 営 学	広島大学
Wang, Guang Yan	オ ウ	中 国	比較教育制度学	広島大学
Grundmanee, Tawat	タ ワ ッ ト	タ イ	初 等 教 育 学	島根大学
Siti Fatimah	シテイファティマ	インドネシア	理 科 教 育	島根大学
Medeiros, Paulo Assis Costa	パ ウ ロ	ブラジル	初 等 教 育 学	島根大学

## 第30期予定表（2000年4月～2000年9月）

期 日	行事／試験等	特別研究指導	備 考
4/12-4/14	4/11(火) 11:00オリエンテーション 4/12(水) 13:00開講式 クラスミーティング 4/14(金) 9:00-9:45 コンピューター講習会		4/12(水) 13:30ホストファミリー 案内 4/15(土) 東広島市オリエンテーショ ンバスツアー
4/17-4/21	4/17・18 (月・火) 9:00-9:45コンピューター講習会	4/21(金)広島市	4/21(金) 4:30ホストファミリー対面式
4/24-4/28			4/29(土)公休日
5/1-5/5			5/3(木)公休日 5/4(木)公休日 5/5(金)公休日
5/8-5/12			5/12(金)17:30- インターナショナル・ティータイム 5/13(土)10:00-12:00 防災・消防オリエンテーション
5/15-5/19	5/16(火)第1回試験	5/19(金)宮島	5/16(火) 9:00-10:00健康診断(男) 5/17(水) 9:00-10:00健康診断(女)
5/22-5/26			
5/29-6/2			
6/5-6/9	6/8(木)「専門用語解説」開始		
6/12-6/16	6/15(木)第2回試験		
6/19-6/23			
6/26-6/30			
7/3-7/7			
7/10-7/14	7/11(火)第3回試験	7/14(金)マツダ	
7/17-7/21			7/20(木)公休日
7/24-7/28			
7/31-9/1	夏休み		
9/4-9/8	9/7(木)第4回試験		
9/11-9/14	9/11・12・13 (月・ 火・木) 特別講義 9/14(木) 13:00成果発表会 15:00修了式		9/15(金)公休日

## 第31期予定表（2000年10月～2001年3月）

期 日	行事／試験等	特別研究指導	備 考
10/11-10/13	10/10(火) オリエンテーション 10/11(水) 13:30開講式 クラスミーティング 10/12(木)9:00-9:45 コンピューター講習会		10/11(水) 14:00ホストファミリー案内 10/14(土) 東広島市オリエンテーショ ンバスツアー
10/16-10/20	10/16・17(月・火) 9:00-9:45コンピューター講習会	10/20(金)広島市	10/20(金) 16:30ホストファミリー対面式
10/23-10/27			
10/30-11/3			11/3(金)公休日
11/6-11/10			11/9(木) 9:00-10:00健康診断(男) 11/10(金) 9:00-10:00健康診断(女)
11/13-11/17	11/14(火)第1回目試験		
11/20-11/24		11/24(金)宮島	11/23(木)公休日
11/27-12/1			
12/4-12/8			
12/11-12/15	12/14(木)専門用語解説		
12/18-12/22	12/21(木)第2回目試験		12/23(土)公休日
12/24-1/7	冬休み		
1/8-1/12			1/8(月)公休日
1/15-1/19			
1/22-1/26			
1/29-2/2	2/1(木)第3回目試験	2/2(金)マツダ	
2/5-2/9			
2/12-2/16			2/12(月)公休日
2/19-2/23	2/22(木)第4回目試験		
2/26-2/28	特別講義		
3/1	13:00成果発表会 15:00修了式		

## 講 師 一 覧

### 第30期（2000年4月～2000年9月）

専任	浮田三郎	グリーク・リークレ	玉岡賀津夫
	多和田眞一郎	中川正弘	深見兼孝
非常勤	今石正人	尾形典子	茅本百合子
	橋孝司		熊野七絵

#### [専門用語解説]

浅川 学（生物生産学部）、磨井祥夫（総合科学部）、岡田光正（工学部）、久保川淳司（工学部）、杉山政則（医学部）、ティー キャン ヘン（経済学部）、中尾敏彦（国際協力研究科）、中越信和（国際協力研究科）、中園和仁（国際協力研究科）、西野信博（工学部）、廣瀬全孝（工学部）、堀越孝雄（総合科学部）、室賀清邦（生物生産学部）、森川弘道（理学部）、矢野順治（経済学部）、山崎敬人（学校教育学部）、吉田和夫（理学部）

### 第31期（2000年10月～2001年3月）

専任	浮田三郎	グリーク・リークレ	玉岡賀津夫
	多和田眞一郎	中川正弘	深見兼孝
非常勤	今石正人	尾形典子	茅本百合子
	橋孝司		熊野七絵

#### [専門用語解説]

朝倉 淳（教育学部）、池田秀雄（教育学部）、落合俊郎（教育学部）、角屋重樹（教育学部）、小山正孝（教育学部）、志水康雄（教育学部）、杉山政則（医学部）、ティー キャン ヘン（経済学部）、寺田隆登（生物生産学部）、中村春作（教育学部）、二宮皓（教育学部）、林 孝（教育学部）、安田 源（工学部）、柳瀬陽介（教育学部）、横溝紳一郎（教育学部）

# 日本語・日本文化研修プログラム

石原 淳也

## <プログラム概要>

本プログラムは、本留学生センターで受け入れる、大使館推薦による「日本語・日本文化研修プログラム」研修留学生を中心に、部局間協定に基づき教育学部で受け入れられている「日本語・日本文化研修プログラム」研修留学生を加え、日本語研修（「日本語・日本事情」で開設されているクラスから選択履修）、日本文化特別講義・見学プログラム、指導教官のもとでの個別指導および課題研究から構成されている。

研修生は研修の終わりに研修成果をレポートにまとめ、指導教官と留学生センターに提出する。留学生センターではそれらのレポートをまとめ、レポート集として刊行している。

## <受け入れ学生の概要>

第15期の研修留学生の出身国、男女比の構成は次の通りであった（10月渡日学生のみ。括弧内は、うち部局間協定に基づく教育学部受け入れ人数。）。

男子8（1） 女子6（2）

出身国

韓国3、中国3（2）、インド1、タイ1、インドネシア1、ヴェトナム1、ニュージーランド1、アメリカ1、ポーランド1、イギリス1（1）

## <特別講義等>

平成11年度後期および、平成12年度前期に実施された99年度（第15期）日本文化特別講義・見学プログラム、および、その他の行事は、以下の通りである。

1999年

10月16日（土）西条バスツアー

10月17日（日）宮島見学

10月22日（金）広島見学&ホストファミリー対面式

11月6日（土）広島大学留学生懇親会

11月7日（日）広島大学 ウォークラリー

11月12日～14日 ビッグジャンボリー（江田島）

11月19日（金）多和田先生特別講義「沖縄のことば」

12月10日（金）相原先生特別講義「日本文学」



12月17日～18日 見学旅行 松江・出雲

2000年

1月14日（金）橋本先生特別講義「日本における自殺の文化史」

1月21日（金）石原 特別講義「日本語学入門」

1月22日（土）留学生センター長杯 ソフトバレーボール大会

1月28日（金）石原 特別講義「日本語音声学入門」

7月1日～2日 高宮町交流会

7月14日（金）マツダ見学

#### <インターネットによる情報提供について>

1999年夏より、留学生センターのWebSiteに「日本語・日本文化研修プログラム」のページを設け、本プログラムに属する学生、研修修了生、およびこれから広島大学での本プログラムへの参加を検討している海外の大学生に対する情報提供を行っている。

これらページでは日本語・日本文化研修プログラム留学生に対する連絡事項、行事予定、終わった行事の記録（写真など）を自由に閲覧することができる。

広島大学留学センターホームページ：<http://www.iie.hiroshima-u.ac.jp/>

日本語・日本文化研修プログラムページ：

[http://www.iie.hiroshima-u.ac.jp/center/bun/bun\\_indx.html](http://www.iie.hiroshima-u.ac.jp/center/bun/bun_indx.html)

#### <宿舎に関する問題>

広島大学での留学生増加に伴い、数年前より広島大学の宿舎には教育学部受け入れ学生（広島大学国際交流会館に入居）を除き入居することが難しくなった。ここ数年、本プログラムの学生のうち、2～3人は西条駅近くの広島県、東広島市、広島県住宅供給公社により共同で建設された「サンスクエア東広島」に入居が許可されているが、その他の学生は民間アパートに入居せざるを得ないという状況が続いている。

日本語・日本文化研修留学生募集要項中の注意事項には、渡日後当座の生活資金として1000アメリカドル程度を用意する事が望ましい旨記載されているが、実際には日本で支給される奨学金をあてにして、資金を用意していない学生が多く、また国情の違いから、必ずしも全ての学生がこれだけの資金を用意できるわけではない。

そのため、学生が民間アパートに入居する際の敷金・礼金、家具等の購入などに必要な費用を指導教官が学生に対し一時貸し付けなければならない状況が生じている。このような状況を多少なりとも改善するため、「広島大学外国人留学生を援助する会」に、民間アパートに入居する留学生に貸し付ける金額の引き上げを検討していただいているが、仮に貸付金額が引き上げられたとしても日本語・日本文化研修プログラムが一年間という短期

間のプログラムであるという点を考えれば、根本的な問題の解決とは言い難い。

本プログラムの学生は日本語能力が高く、なおかつ十分な国費奨学金を得ているため、限りのある大学の宿舎に入居する優先順位が他の学生に比べ下がることは十分理解できるが、全学的な見地からも、優秀な学生を確保し、また大学院生・研究者として広島大学に戻ってきてもらうため、本プログラムの学生も入居できる程度までの宿舎の拡大・充実が切に望まれる。

# 留学生指導部門： 平成12年度（2000年度）指導部門活動報告

玉岡 賀津雄  
金田 智子

日常的な指導・助言活動、および広島県の国際交流促進モデル地域としての業務などを除くと、主にオリエンテーションを中心とした指導部門の平成12年度の活動は以下のようなものであった。

## 平成12年度前期の活動

平成12年度の留学生受け入れのための準備は、平成11年度の3月から始まっている。

### 3月上旬ーボランティア・チューターの募集

平成10年6月の国際交流ボランティア制度の発足（詳細は、玉岡,1999）から、Eメールによるボランティア・チューターを募集している。日本語研修生の多くは日本語がまだ不十分なため、たいてい英語または中国語でコミュニケーションを図ることになる。特に、アジア圏からの留学生の多くが英語を話すことができるので、英語のできるボランティアが必要である。

### 3月31日（金）ーボランティア・チューターのためのオリエンテーション

Eメールで募集した広島大学国際交流ボランティアの希望者から選ばれたボランティア・チューターのために、留学生の外国人登録、銀行口座、ガス・電気、電話、各種保険、健康診断、一時帰国、アルバイト（資格外活動）などについて、オリエンテーションを2時間に渡って行った。つまり、ボランティア・チューターに、書類作成、生活上の諸注意など留学生が直面する多様な問題を知っておいてもらうためのオリエンテーションである。これによって、各ボランティア・チューターが留学生の質問に答えられるように準備しておくことができる。なお、留学生も広島大学の大学院生、学部学生、研究生の身分であればボランティア・チューターになれるので、チューターが日本人であるとは限らない。むしろ、積極的に留学生にも新しく来る留学生のボランティア・チューターになるように勧めている。また、こちらが大まかなアウトラインを説明した後、ボランティアの希望に基づいて自分達で、どの留学生のチューターになるかを決めてもらった。

#### 4月3日（月）～4月7日（金）一新渡日留学生の出迎えとオリエンテーション

JR東広島駅で国際交流ボランティアのチューターと共に留学生を迎えた。その日のうちに外国人登録や健康保険など基本的な書類を作成し、国際交流会館周辺の交通機関、病院、警察、市役所、スーパー、レストランなど、すぐに必要と思われる情報について基本的なオリエンテーションを行った。広島大学に来て初日の経験であるため、第一印象を良くするよう、朗らかな対応を心がけている。その際、広島大学留学生センター発行の『広島大学留学生キャンパスライフ・ガイド』（第2版を2000年4月に印刷、第2版を同年10月に印刷）を配布した。

#### 4月4日（火）一留学生専門教育教官等勉強会

新しく広島大学にきた全留学生を対象にオリエンテーションを行った。これまで、各学部の抱える問題の詳細について聞く機会が少なかった。そこで、全学の留学生専門教育教官および関連した教官を集めて、留学生を迎えるにあたっての勉強会を行った。今後の協力体制を築く上で非常に有意義な会であった。

#### 4月8日（土）一国際交流会館生活オリエンテーション

日本語研修生全員と一部の日本語・日本文化研修プログラムの留学生は、国際交流会館に入るの、国際交流会館に住むという条件でのオリエンテーションを国際交流会館の2階で行った。家賃の支払い、ゴミの出し方、電話の使用、郵便物の受け取り、長期の不在など、さまざまな生活上の留意点を詳細に説明した。なお、国際交流会館に住む、留学生センター所属以外の留学生も生活オリエンテーションに参加している。

#### 4月10日（月）一新渡日全学留学生オリエンテーション

これまで、全学の留学生を対象としたオリエンテーションは行ってこなかったが、はじめて新しく留学してきた学生のために、日本語、英語および中国語によるオリエンテーションを行った。このオリエンテーションでは、留学生相談、健康保険、一時帰国、アルバイト、車の購入、駐車証明など、生活全般の説明を行った。

#### 4月11日（火）一日本語研修コース・オリエンテーション

日本語研修コースが始まる前に、日本語研修コースのカリキュラム、教科書、日程、テストなどのオリエンテーションを留学生センターの日本語教育部門が行った（詳細は、日本語教育部門の活動報告を参照）。指導部門もこのオリエンテーションに参加して、必要な説明を行った。

#### 4月15日（土）－東広島市オリエンテーション・バスツアー

バスを1台借りて、東広島市のオリエンテーションのためのバスツアーを行った。広島大学の東広島地区のキャンパス全体や各種の施設、市役所、病院、郵便局、図書館、スーパー、西条駅、空港などを回りながら、利用方法などについて説明した。これは、大学およびその周辺の環境を体験的に知ってもらうという企画のオリエンテーションである。

#### 4月27日（木）－健康管理オリエンテーション

このオリエンテーションでは、日本の健康保険の仕組みについて説明した。留学生が病院で診察や治療を受けた場合、国民健康保険が、治療費の70パーセントを補助し、さらに、日本国際教育協会（AIEJ）の外国人留学生医療補助制度により、留学生負担分の30パーセントの内80パーセントまで補助することができる（詳細は、広島大学留学生センター、2000を参照）。その結果、留学生の負担分が、治療費のわずか6パーセントになることを説明した。その際、日本国際教育協会が発行している『留学生のための健康のしおり』（第2刷、1999年）を配布して、説明に利用した。

#### 5月13日（土）－防災・消防オリエンテーション

春と秋の年2回、留学生がある程度生活に慣れてきて、来日後1ヵ月くらい経った時期に、賀茂広域消防署の協力を得て、国際交流会館で消防訓練を行っている。梯子車による7階からの脱出訓練、消火器操作訓練などの実地訓練を含んでいる。また、広島大学留学生センターでは、『防犯を防ぐために（To Prevent Crimes）』（1999）という日本語と英語の対訳のパンフレットを作成しており、これを配布して、戸締り、泥棒、ひったくり、自転車泥棒、スリ、性犯罪防止対策などについて説明を行っている。広島県警察本部広報課でも、『県民のまもり－広島の警察』を日本語と英語の対訳で出版し、配布して、外国人居住者のために情報を提供している。これらの情報や訓練を通して、留学生に防災の知識が身につくように努めている。

#### 5月12日（金）－東広島キャンパスのインターナショナル・ティータイム

#### 5月19日（火）、6月20日（火）－霞キャンパスのインターナショナル・ティータイム

インターナショナル・ティータイムは、留学生センター設立以来、継続して実施されている国際交流活動である。2000年度は、東広島キャンパスで2回、霞キャンパスで4回、実施した。参加費は無料で、学生のみならず学内の関係者、家族も参加できる。また、国際交流ボランティア制度ができたことから、これまで行ってきたインターナショナル・ティータイムに留学生とボランティアによる文化紹介の企画も加えることができた。1997年5月以来、学生のクラブ活動である広島大学国際交友会（I.A.H.U.）がインターナシヨナ

ル・ティータイムに参加し、広島大学留学生センターの共催というかたちで、企画や準備を援助している。

## 平成12年度後期の活動

前期と同様、後期も新渡日留学生に対する一連のオリエンテーションおよびさまざまな大学や地域の行事を実施した。

9月27日(水)と9月28日(木)ーボランティア・チューターのためのオリエンテーション  
27日(水)は、日本語・日本文化プログラム留学生のボランティア・チューターのためのオリエンテーション、28日(木)は、日本語研修生のボランティア・チューターのためのオリエンテーションを実施した。内容は前期とほぼ同じである。

10月2日(月)～10月6日(金)ー新渡日留学生の出迎えとオリエンテーション

10月10日(火)ー国際交流会館生活オリエンテーション

10月14日(土)ー東広島市オリエンテーション・バスツアー

10月26日(木)ー健康管理オリエンテーション

11月18日(土)ー防災・消防オリエンテーション

11月9日(木)～11月10日(金)ー留学生のための健康診断

前期と同様に、オリエンテーションの流れとして、以上のことを実施した。また、東広島市にある主な病院および外国語が通じる病院についての一覧表を配布して、情報提供の徹底を計った。さらに、健康診断に必要な書類の記入を英語で説明し、保険証と一っしょに携帯するよう指導した。

10月27日(金)と11月19日(金)ー霞のインターナショナル・ティータイム

2月9日(金)ー東広島市インターナショナル・ティータイム

前期と同様に、東広島市および広島市にある霞キャンパスで、国際交流を目的としたインターナショナル・ティータイムが行われた。

11月3日(金)～11月5日(日)ー平成12年度学ぶ青年全国集会「文化を創る」(Building Culture)

国立江田島青年の家が全国規模の集会を開催した。その一部として、外国人留学生と日本人青年との異文化理解および交流会が企画された。広島大学からも、23名の留学生が参加した。

## 2月13日（火）～2月14日（水）－スキー研修セミナー

毎年、留学生を連れてスキー研修に出かけている。今年も、20名強の留学生が参加して、芸北国際でスキー研修を行った。スキーをしたことがない留学生がほとんどであったが、2日目の午後になると、かなりうまく滑ることのできる留学生もいた。

## おわりに

平成12年度は、昨年と同様にオリエンテーションを1カ月半に渡って実施し、情報を順序良く留学生に提供できた。全学の留学生を対象としたオリエンテーションも含んで、一連のオリエンテーションが定着してきたようである。また、本年度は、広島地域の高等教育機関、留学生のための宿舎問題などを総括的に紹介することができるようにホームページを開設した。さらに、キャンパスライフ・ガイドのホームページ化も進めている。近年、中国、韓国、台湾などから直接インターネットによる問い合わせが急増しており、平成13年度は、こうしたニーズに対応できるように、ホームページの充実、添付資料の準備をすすめていく予定である。

## 引用文献

広島県警察本部広報課（未記入）．県民のまもり－広島の警察．広島：広島県警察本部広報課．

広島大学留学生センター（1999）．犯罪を防ぐために（*To Prevent Crimes*）東広島：広島大学留学生センター

広島大学留学生センター（2000）．広島大学留学生キャンパスライフ・ガイド．東広島：広島大学留学生センター

日本国際教育協会（1999, 第2刷）．留学生のための健康のしおり．東京：日本国際教育協会事業部学生生活課保健係．

玉岡賀津雄（1999）．国際交流ボランティア制度の導入による留学生の指導・助言活動の新しい展開．1998年度広島大学留学生センター講演・討論会報告書「二十一世紀の留学生教育に向けて」（pp.29-37）．東広島：広島大学留学生センター．

# 教育交流部門・広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム

堀 田 泰 司

広島大学短期交換留学プログラムは、短期留学推進制度の一環として、特に日米文化教育交流会議（カルコン）においてジュニア・イヤー・アブロード・プログラムによる留学生の受け入れを積極的に推進するよう勧告されていることもあり、アメリカ合衆国を主たる対象国としながら北米、オセアニア、アジア、ヨーロッパ諸国の大学（短期学生交流協定校）に在籍する学部学生で、本学に一学期若しくは一学年度の短期間留学を希望する者を対象とするもので、特別に「英語による授業科目」を開設することでもって、本学で教育を受ける機会を提供し、もって学生交流を活性化させ、本学の一層の国際化に資することを目的とするものである。そのために特に本学では、総合科学と言う観点から特色ある専門的科目や日本・アジア理解を推進する専門的科目を提供し、将来日本やアジアの事情に通じた人材の育成に貢献するとともに、本学の学生の国際感覚の養成と海外留学を活性化することが出来るようなプログラムを提供する。また、交換留学プログラムを通じて、広島大学の学生を積極的に海外へ派遣し、21世紀の社会に貢献できるコミュニケーション能力と国際感覚を身に付けた大学生の要請を目指している。

昨年からは、こうした交換留学事業がより効率的且つ効果的に行われるようUMAP（University Mobility in Asia and Pacific）事業にも参加し、単位互換制度においてもUMAP事業が提唱するUCTS（UMAPCreditTransferScheme）を今年度の交換留学生から適応している。HUSAプログラムは、その実施委員会によって統轄されており、委員会は、合計20名の各学部代表委員並びにその他委員により構成されている。但し、実務的な管理運営に関しては、留学生センターの教育交流部門並びに留学生課がその主たる業務を担っている。また、受け入れ学生に対する授業科目は、各学部が独自に開講している。

## I. 受け入れプログラムの概要

- ① 受け入れ期間： 一学期又は、一学年
- ② 募集人員： 50名
- ③ 募集方法： 学生交流協定を締結している（締結する）各国の大学に対し募集要項を配布し、公募する。
  
- ④ 応募資格： (1) アメリカ合衆国を主としたアジア・太平洋地域の大学の学部学生



であること

- (2) 本学との間に学生交流協定を締結している大学の学生または学生交流について双方が合意した書簡がある大学の学生
- (3) 原則として自国の大学の正規課程3年次の学部学生
- (4) 学業成績が優秀で日本留学に熱意を持つ者
- (5) 非英語圏から応募する学生にあっては英語による授業を履修できるのに必要な英語力を持つ者

- ⑤ 選考方法：別途設置する選考委員会において書類選考する。
- ⑥ 学生の身分と受け入れ方法：学生は、留学生センターで総括しながら、それぞれ専門に応じて本学の指導教官を定め、各学部で「特別聴講学生」（広島大学学生交流規程）として受け入れる。
- ⑦ 授業料等の不徴収：交流協定に基づく、特別聴講学生として受け入れるので、授業料等を徴収しない。（なお授業料については、協定の中で「相互不徴収」について合意する必要がある）
- ⑧ カリキュラム：2000年度に開設された授業科目は、3つの形態から構成されている。「特設科目」は、HUSAプログラムの学生のために特別に開設された英語による授業であり、「常設科目」は、すでに総合科学部で開設されていたものに、HUSAプログラムの学生が登録した場合、英語を交えた授業にするという条件のついた授業であり、日本人学生と共に履修するものである。第3に「日本語関係科目」は主に教育学部が開設している日本語・日本事情の科目である。また、授業科目はそれぞれの学部が開設しているものであり、その統轄は各学部で行われている。以下が2000年度に開設された授業科目一覧表である。

## 2000年度（2000年10月～2001年7月）授業科目一覧

### 1. 特設科目

授業科目名	単位数	開講学期	備考
アジアの哲学と宗教	2単位	秋学期	文学部
日本の農業、農学研究	2単位	秋学期	生物生産学部
海洋生物学概論	2単位	秋学期	生物生産学部

材料科学概論	2単位	秋・春学期	理学部
日本の財政システム	2単位	秋学期	経済学部
政治と大衆文化	2単位	秋学期	法学部
国際理解のための教材開発	2単位	秋学期	教育学部
実験心理学実習	2単位	秋学期	教育学部
日本の文化と教育	2単位	秋学期	教育学部
日本の琴演習	2単位	秋学期	教育学部
日本の文化と教育演習	2単位	秋学期	教育学部
日本の家庭生活	2単位	秋学期	教育学部
文学批評概論	2単位	秋学期	教育学部
日本の理科教育	2単位	秋学期	教育学部
応用化学と生物工学概論	2単位	春学期	工学部
野外学習	2単位	春学期	理学部
生命科学概論	2単位	春学期	理学部
応用微生物学	2単位	春学期	生物生産学部
仏教学	2単位	春学期	文学部
財政工学概論	2単位	春学期	工学部
比較教育学	2単位	春学期	教育学部
美術教育概論	2単位	春学期	教育学部
日本のスポーツと文化	3単位	春学期	教育学部
日英比較対象言語学	2単位	春学期	教育学部
国語と文学とその教授法	2単位	春学期	教育学部
木工細工概論	2単位	春学期	教育学部
幾何学	2単位	春学期	教育学部
特殊教育概論	2単位	春学期	教育学部
開発教育論	2単位	春学期	教育学部
平和と人権	2単位	春学期	HUSAプログラム 実施委員会
特別課題研究	4単位	秋・春学期	

## 2. 常設科目

授業科目名	単位数	開講学期	備考
現代社会学演習	2単位	秋学期	総合科学部
環境化学	2単位	秋学期	総合科学部

計算機インターフェース論	2単位	秋学期	総合科学部
現代映画論	2単位	秋学期	総合科学部
アングロ・アメリカ法	2単位	春学期	法学部
公民社会演習	2単位	春学期	法学部
家裁法演習	2単位	春学期	法学部
量子力学演習	2単位	春学期	総合科学部
生体防御学	2単位	春学期	総合科学部
環境科学野外実習	2単位	春学期	総合科学部
言語応用論演習	2単位	春学期	総合科学部
言語思想論	2単位	春学期	総合科学部
現代映画論	2単位	春学期	総合科学部

### 3. 日本語関係科目

授業科目名	単位数	開講学期	備考
日本語・日本事情A	2単位	春学期	総合科学部
日本語・日本事情B	2単位	秋学期	総合科学部
日本語レベルⅠA	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅠB	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅠC	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅠD	2単位	秋学期	留学生センター
日本語レベルⅡA	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅡB	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅡC	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅡD	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅡE	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅡF	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅢA	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅢB	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅢC	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅣA	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅣB	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅣC	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅤA	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルⅤB	2単位	秋・春学期	留学生センター

日本語レベルVC	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルVD	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルVE	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルVF	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本語レベルVG	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本事情A	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本事情B	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本事情C	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本事情D	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本事情E	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本事情F	2単位	秋・春学期	留学生センター
日本事情G	2単位	秋・春学期	留学生センター

- ⑨ 受け入れ体制の整備：(1)学生宿舍（日本人・留学生混住型）を用意するとともに、ホームステイ受け入れ家庭との交流も促進する。(2)日本人学生チューターを事前に配置し、受け入れ開始と同時に留学生を支援する。(3)入国時身元保証人としては、各指導教官に依頼しないで、機関保証（広島大学）とする。

## II. 2000年度HUSAプログラム受け入れ状況

2000年度は、プログラムが更に発展し、カナダ、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、中国、韓国、フィリピン、ロシア、ポーランド、スウェーデン、オランダ、イギリス、ドイツの20大学（前年度13大学）から計42名（前年度32名）の留学生を受け入れた。期間は、殆どの学生が1年間の滞在を希望しており、男女別で見ると男子学生20名、女子学生22名であった。

派遣国	大学名	期間	人数(男：女)
カナダ	カルガリー大学	1年	3名(2：1)
アメリカ	フロリダ州立大学	1年	3名(1：2)
	メリーランド大学	1年	2名(2：0)
	ミネソタ大学	1年	3名(3：0)
		半年	1名(0：1)
	ハワイ大学	1年	4名(1：3)
アラバマ大学	1年	2名(2：0)	

	ランドルフ・メーコン大学	1年	1名(0:1)
オーストラリア	ニューイングランド大学	1年	4名(0:4)
	ラ・トロベ大学	半年	2名(0:2)
ニュージーランド	オークランド大学	半年	1名(0:1)
マレーシア	マラヤ大学	1年	1名(0:1)
中国	大連理工大学	1年	2名(2:0)
韓国	釜山大学	1年	2名(0:2)
	慶北大学	1年	2名(2:0)
ロシア	トムスク工科大学	1年	1名(1:0)
ポーランド	ワルシャワ農業大学	1年	1名(1:0)
スウェーデン	リンシューピン大学	1年	2名(0:2)
オランダ	アムステルダム大学	1年	1名(1:0)
イギリス	リーズメトロポリタン大学	1年	3名(1:2)
ドイツ	チュービンゲン大学	1年	1名(1:0)
合計			32名(20:22)

### 所属学部別

所属学部	人数(男:女)
総合科学部	5名(1:4)
文学部	4名(3:1)
教育学部	13名(3:10)
経済学部	5名(4:1)
法学部	2名(1:1)
理学部	4名(4:0)
生物生産学部	3名(1:2)
工学部	6名(3:3)
合計	42名(20:22)

### III. 2000年度HUSAプログラム受け入れ活動

- ① 選考：2000年度募集要項は、昨年1～2月中に派遣大学へ配布され、3～4月に各大学から参加希望者が推薦された。そして、5月には、本学の選考委員会によって正式決定された。

- ② 渡日前の情報の提供：渡日前のオリエンテーションを兼ねて広島大学及び留学生生活に関する情報を網羅した英語版の「短期交換留学生用手引き」を各学生に送付した。この手引きは、前年度の短期交換留学生によって作成されたものである。また、学生の個人的な質問等には、ホームページによる情報の提供と電子メールやファックスを活用し直接、個々のケースに対応した。
- ③ チューターオリエンテーション：日本人学生チューターに対し、今年度も2回の説明会を行った。第1回目は、チューターとしての全般的な支援活動の内容について説明し、第2回目は、渡日後1週間の事務手続き並びに寮へ入居するまでの具体的な支援活動についてオリエンテーションを行った。毎年、チューターの学生支援には、個人差が大きかったので、今回は、新しく4月より赴任した短プロ担当教官のグリーク講師が留学生への援助の継続性と責任を強く訴えかけ、チューターの職務内容の均等化を計った。
- ④ 見学研修：留学生センターが実施している見学研修に参加する形で短期留学生にも宮島や企業訪問等を行っている。その他にも短期プログラム用特設科目の指導教官が授業の一貫として独自に様々な見学旅行を実施している。
- ⑤ 授業科目の開設状況：短期プログラム用の開設科目数は、毎年、全学から開講され、今年度も78もの科目が短期留学生の為に開講された。
- ⑥ 履修状況：今年度の秋学期の履修状況は、過去4年の状況と概ね同様で全員が10～12単位、授業科目数にして、6～9教科授業を履修している。多くの学生は自分の専門分野以外の教科にも積極的に参加している。特に、日本語の履修の比率の多さは、例年通り、顕著に現われている。
- ⑦ 文化交流支援活動：今年度3年目を迎える口和町ホームステイプログラムへの参加、東広島ホストファミリークラブとの交流会、クラブ活動への参加の支援等を行って来た。また、当留学生センターの指導部門による国際交流ボランティア制度を利用し、日本人学生の会話パートナーを短期留学生に紹介した。会話パートナーとの交流は、留学生の日本人学生との交友関係を著しく充実させ、プログラム開始当初の短期留学生がよく口にした「疎外観」という言葉は今年度の留学生からは、ほとんど聞こえて来なくなった。こうした日本人との交流の場をより多く与えたことは、留学生の精神面での安定を作り出しただけでなく、プログラ

ム全体の内容改善に大きく寄与したと考える。

#### IV. 2000、2001年度HUSA留学生派遣計画

### 広島大学短期交換留学（HUSA）プログラム 派遣学生の募集について

#### 1 制度の趣旨：

短期交換留学プログラムは、学部生・大学院生が短期学生交流協定等に基づいて母国の大学に在籍しつつ、派遣先の大学において学習、異文化体験、語学の実地習得等を目的として、概ね1学年以内の1学期又は、複数学期教育を受けて単位を取得し、研究指導を受ける制度で、平成8度後期から、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、フィリピン、中国、韓国、ロシア、ポーランド、ドイツ、オランダ、スウェーデン、イギリスの大学から主として学部学生を短期交換留学生として招致し、本学の学部学生を各国各協定大学に派遣するという相互交流事業である。この交流事業は派遣先大学において授業料不徴収及び単位互換認定の制度を内容としており平成13年度の派遣学生を別紙の通り募集します。

#### 2 出願書類：

- ①申請書
- ②留学計画書
- ③TOEFL成績表（530点以上が望ましい。）
- ④学業成績証明書

#### 3 出願書類提出締め切り：平成12年11月24日（金）

#### 4 選考：

応募条件を満たしている者に対し、留学計画、TOEFL成績、学業成績及び面接（口述）試験の結果に基づき選考する。第二希望大学まで選考の対象とする。

#### 5 面接（口述）試験日：平成12年12月25日（月）

#### 6 決定：平成13年2月ごろ協定校へ推薦し、最終決定は協定校の決定によるものとする。

本校の短期留学生派遣は、2000年度までに既に4回実施されており、また、2000年度派遣留学生の選考も既に終えている。例年、12月24日（本年度は、25日）に応募者の選考試験を行い、翌年の1～2月中には実施委員会で選考、3～4月に受け入れ大学へ推薦という日程で選考・推薦を行っている。以下は、派遣学生の募集に関する資料の一部を抜粋したものである。

## V. HUSA留学生派遣事業の実績

2000年度の短期交換留学生派遣に関しては、既に35名の応募者の内18名を推薦し、9大学へ派遣した。また、2001年度派遣留学生に関しては、32名が応募し、内29名はアメリカ、カナダ、マレーシア、韓国、ロシア、ポーランド、イギリス、オランダ、ドイツの12校への推薦が決定している。また、オーストラリアとニュージーランドの協定校に関しては、該当者がいなかったため、今年の7月に2次募集し、10月に選考する予定である。

## VI. HUSA留学生派遣事業の活動状況

本学の学生に海外留学の機会を増やすことが、広島大学の短期交換留学プログラムの重要な任務の一つであることから、2000年度にもいくつかの活動を行った。第1の活動は、海外留学に際し必要な現地校の事情を網羅したガイドブックの作成／再編集である。これは、2000年度に協定校から派遣されてきた留学生が、母校に関する知識と経験を基に作成したものである。今年度は、ハワイ大学、アラバマ大学、釜山大学、慶北大学のパンフレット作成を行った。また、こうしたパンフレットを短期プログラムのホームページに掲載し、より多くの学生に海外留学の情報を提供できるよう定期的にホームページをアップデートしている。第2の活動は、派遣前のオリエンテーションの開催で、毎年、留学に関する一般的な情報と共に、協定校から来ている留学生との交流の場を提供している。また、広島大学と協定校の学生交流はその後も続き、現在は、協定校においても様々な交流活動が行われている。最後に、海外留学の機会をより多くの学生に認識してもらうため、2000年の5、6月に短期交換留学プログラムの説明会を開催した。こうした説明会は今年度で4年目を迎え、毎年約200名程度の学生にプログラムに関するガイダンスを行って来た。今後ともより多くの説明会やその他の広報活動を続け、一人でも多くの日本人学生を派遣できることを期待している。

## VII. その他の活動

今年度は、大きな活動としては、広島大学もUMAP事業への参加の準備を開始したこと



が上げられよう。また、UMAP事業においては、2000年度から広島大学の短期プログラム実施部会長並びに担当教官がUMAPの国内外の委員会の委員を努め、その活動の中心的な役割を担っている。そうした関係で、8月には、堀田教官が文部省短期在外研究員としてヨーロッパ5ヶ国を訪問し、UMAPのモデルになっているERASMUS事業の実態調査を行ったり、二宮部会長が2001年3月には、ERASMUSとUMAPの交流と目指し、ベルギーの欧州委員会本部へ文部省代表と訪問したりしている。また、広島大学の交換留学プログラムにおいてもUCTSの実施の準備を始め、協定校との交渉やERASMUSのガイドラインに沿ったプログラムガイドブックの作成等と行っている。

### 主な活動

- 4月        グリーク・リークレ講師が赴任。  
             ミネソタ大学短期交換留学プログラムディレクターが来校。
- 6月        第一回UMAP説明会に参加。
- 8～9月   短期プログラム担当教官がヨーロッパ5カ国を訪問し、ERASMUS交流事業を調査。
- 10月       ピッツバーグ大学教授が来校し、短期交換留学プログラムの将来的な発展に関し討議。  
  
             UMAP国際大会（韓国）に参加。
- 1～3月    タマサート大学（タイ）と南洋工科大学（シンガポール）と学生交流協定を締結。
- 3月        国立大学短期交換留学プログラムコーディネータ連絡協議会の開催。

# 広島大学留学生センター設立10周年記念講演討論会

深見兼孝

広島大学留学生センターは1990年6月に設立され、今年で10周年を迎えた。そこでこれを記念し、2000年11月10日（金）・11日（土）、『21世紀の留学生センター像』と題し、講演・討論会を開催した。否応なく押し寄せている大学の国際化をはじめ、諸変革の波の中で、留学生センターの現状をどう捉え、新しい世紀に向かってどのようなビジョンが期待されるのか、を中心に文部省、副学長および5つの留学生センターから5名、計7名の方に講演を依頼し、それに基づいたディスカッションを行った。

以下にプログラムと参加者名簿をあげる。

## プログラム

広島大学留学生センター設立10周年記念 講演討論会

『21世紀の留学生センター像』

日時：2000年11月10日（金）、11日（土）

場所：広島大学中央図書館ライブラリー・ホール

11月10日（金） 10時～19時（9時受付開始）

<午前部> 司会・進行：中川正弘（広島大学留学生センター）

10：00～10：10 開会の辞・挨拶 広島大学留学生センター長 多和田眞一郎

10：10～10：30 講演 広島大学副学長 牟田泰三

10：30～11：30 講演 文部省留学生課課長補佐 荒木 亨

11：30～11：50 質疑応答

[昼休み]

<午後部> 進行：玉岡賀津雄（広島大学留学生センター）

13：00～15：05 講演「留学生センター設立後の歩みと今後の展望」

北海道大学留学生センター 米山道男

東北大学留学生センター 佐藤勢紀子

名古屋大学留学生センター 藤原雅憲

神戸大学留学生センター 中西泰洋

広島大学留学生センター 多和田眞一郎

15:05~15:25 休憩

15:25~16:25 ディスカッション 司会：浮田三郎（広島大学留学生センター）

16:25~16:30 まとめ・閉会の時 広島大学留学生センター 浮田三郎

<懇親会>

17:00~19:00 北1レストランにて

11月11日（土） 10時~12時

10:00~12:00 自由討論会

参加者

[講演者]

牟田泰三 広島大学副学長

荒木 亨 文部省留学生課課長補佐

米山道男 北海道大学留学生センター

佐藤勢紀子 東北大学留学生センター

藤原雅憲 名古屋大学留学生センター

中西泰洋 神戸大学留学生センター

多和田眞一郎 広島大学留学生センター

[国外]

趙 垺熙 国立順天大学校人文社会科学大学日語日文学科（韓国）

李 若柏 東北師範大学（中国）

[学外]

石黒 圭 一橋大学留学生センター

石田孝子 群馬大学留学生センター

今西利之 熊本大学留学生センター

奥村訓代 高知大学人文学部

加藤扶久美 富山大学留学生センター

金田章宏 千葉大学留学生センター

川平博一 琉球大学留学生センター

齊藤美智子 岡山大学留学生センター

佐藤友則 信州大学留学生センター

代田智恵子 佐賀大学留学生センター

武井直紀 東京工業大学留学生センター  
田崎敦子 東京農工大学留学生センター  
田畑千秋 大分大学教育福祉科学部  
都河明子 東京大学理学部国際交流室  
土屋充義 鹿児島大学留学生センター  
中里弘子 静岡大学留学生センター  
中村収三 大阪大学留学生センター  
長谷川和彦 東京医科歯科大学留学生課  
長谷川伸次 比治山大学現代文化学部  
平澤洋一 城西大学女子短期大学部  
廣中 環 H J L S ひろしま日本語学校  
藤田益子 新潟大学留学生センター  
古城紀雄 大阪大学留学生センター  
文野 峯子 人間環境大学  
松井信行 東京外国語大学日本語教育センター  
道脇綾子 東京外国語大学日本語教育センター  
水戸考道 九州大学留学生センター  
峯 正志 金沢大学留学生センター  
牟田 おりゑ 岐阜大学留学生センター  
八木恵子 埼玉大学留学生センター  
山本 進 大阪外国語大学留学生センター

[学内]

金森貞夫 総合科学部 二宮 皓 教育学部  
橋本敬司 文学部 栗田玲子 法学部

[留学生センター]

浮田三郎 堀田泰司  
中川正弘 金田智子  
深見兼孝 石原淳也  
玉岡賀津雄 グリーク・リークレ  
田村泰男 阪田泰和